

放課後等デイサービス事業所における自己評価

事業所名: 児童発達支援 ワンハート

配布数 5人 回収数 5人 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない わからない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善目標、工夫している点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1		人数が増えると狭く感じるので、活動を分けて行い
	2	職員の配置数は適切である	5			
	3	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっている。また障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		1	絵カードが少ないので、増やしながら対応します
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっている	5			毎朝の掃除をしています
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			常勤スタッフで話し合って改善しております。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		2	3	初年度のためこれから公開します。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している		2	3	初年度のためこれから公開します。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			5	まだ実施できていませんが、これから検討します
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1		外部研修への参加や内部研修を実施しています。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	1		契約時にアセスメントをとらせていただいています
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		契約時にアセスメントを取らせていただいています
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択されているか	3	2		ミーティング等ではスタッフ一人ひとりが自由に意見を言い、支援の仕方や活動の進め方等共通の目標を持って取り組むことを目指しております。子ども一人ひとりやグループの特性に合わせたプログラム内容を計画し、季節や達成度に合わせて変化させております。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	1		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	3		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5			
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			毎朝朝礼で子どもたちの支援の共有をしています	

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	2	2	会話の中でその日の支援がどうだったかを振り返ることと次の日の朝振り返りで支援の質の向上のための検証を行っています
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	1		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			開催される場合には児童発達支援管理責任者等の適任者が出席予定です。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1		連絡が上手く取れないご家庭とは相談員さんと連携して情報共有しております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携した支援を行っている			5	医療的ケアが必要なお子さんはいません
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			5	同上
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		3	2	今後、保育園等との連携を図っていきます
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		1	4	まだ卒業生がいませんのでこれから連携を取っていきます
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		他事業所と連携し、見学を行ったりしています
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		1	4	コロナ禍でなかなかできていませんが、今後行っていきます
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5			事業所連絡会に参加し、情報共有をしています
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1		送迎時にお話をしたり、情報共有をしています
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2		支援の方法や関わり方をお伝えすることがあります
保護者への	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			契約時にご説明を行っております。また、随時不明な点はご説明するようにしております。支援の内容については支援計画でお知らせしたり、送迎時等でお伝えさせて頂くようにしております。
	33	発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	1	4		ガイドラインを周知し、適切な支援をしています
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			送迎時にお話をしたり、情報共有をしています
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	4	コロナ禍でなかなかできていませんが、今後行っていきます

説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			職員間で情報共有しながら対応していきます
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			ブログに定期掲載しております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5			個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しております。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1		わかりやすい伝達方法を工夫したり、伝わる方法を児童や保護者様に合わせるようにしております。

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	1	地域の方との交流を深めるイベントを今後実施していきます
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5			避難訓練を行っています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			避難訓練を行ったり、防災に関する外部研修にスタッフが参加しております。
	43	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	5			契約時のアセスメントで伺っています
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			食事の提供はありませんが、対応していきます
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			ヒヤリハット事例が起きた時は、職員間で共有しています
	46	虐待防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			虐待防止の研修に参加しています
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載している	2	2	1	身体拘束の説明を事前に行い、了承を得ていきます。